

- 2面 中型いか釣り漁船出航（道南）
遠洋マグロはえ縄漁船出航（小名浜）
3面 海員スポーツイベント（尾道）

船員しんぶん

◆ホームページアドレス<http://www.jsu.or.jp> ◆Eメールアドレス kaiin@jsu.or.jp
全日本海員組合発行 第3024号（昭和25年8月24日第三種郵便物認可）

2023年(令和5年)
6月5日
本紙は毎月5・15・25日発行
〒104-0053 東京都中央区
晴海4丁目7番28号
ホテルマリナーズコート東京内
全日本海員組合本部
発行人 齋藤 洋
TEL 03-5410-8329
FAX 03-5410-8337
定価1部50円
(組合員の購読料は組合費に含む)

堂ヶ島マリン(株)「地位確認等請求事件」勝訴! 陸上勤務に専従する義務はなし! 未払い賃金および損害賠償支払いを命令!



本社前で抗議行動

静岡地裁沼津支部、会社の不法行為を認定

堂ヶ島マリン(株)は新型コロナウイルスの影響を理由に事業休止を決定したとして、令和2年5月末付で組合員13名全員の雇用契約を解除した。ところが会社は、退職した組合員のうち6名に、組合に連絡することなく再採用を打診し、組合脱退を強要するばかりか、組合員であることを表明した船員に対し陸上勤務への配転を命じるなど、支配介入を繰り返していた。

組合は、直ちに団体交渉開催の申し入れを行ったものの、会社はこれに応じることなく、労使確認を反故にするなど不当労働行為を行ってきた。

このような状況を踏まえ、組合員の船員としての地位保全を最優先として、静岡地方裁判所沼津支部に対し、「地位確認等請求事件」として提訴し、会社の不法行為を訴えた。その結果、令和5年5月31日、静岡地方裁判所沼津支部は、本件について、会社の配転命令権の濫用は違法であること、会社は組合員に対し未払い賃金および損害賠償を支払えとの判決を下した。

これまでの経緯

本件の始まりは、令和2年、新型コロナウイルスの全国的な感染拡大により緊急事態宣言が発令されている状況下、堂ヶ島マリン(株)より地元自治体からの観光業営業自粛要請による経営環境悪化を理由に、遊覧船事業を長期間休業止ざるを得ないとして、事業休止に関する協議申し入れを受けた。

労働債権の確認など協議の結果、事業再開の際には組合と協議することを前提とし、令和2年5月末付で組合員13名全員の雇用契約を解除した。

ところが会社は、退職した組合員のうち6名を組合に連絡することなく呼び出し、再採用を打診し、組合を脱退するよう強要した。更に組合員であることを表明した船員に対しては、陸上勤務への配置転換により労働諸条件の引き下げを行うなど支配介入を繰り返したうえ、令和2年7月より運航を再開した。

また会社は、組合からの団体交渉開催の求めに対し、新型コロナウイルスや業務などを理由に交渉開催に応じようとせず、事業を再開する際の労使確認を一方的に反故にするなど不誠実な対応を続けるとともに、組合員に対し嫌がらせともいえる悪質な行為を行ってきた。

これら会社の極めて許し難い行為に組合は、抗議行動を実施するとともに組合員の海上復帰および待遇改善に向け団体交渉開催を求めたものの、代表取締役社長は出席することなく社外代理人が交渉の席に着くなど、会社は極めて不誠実な対応を継続した。

裁判所への申し立て

このような状況を踏まえ組合は、組合員の海上勤務者としての地位保全を最優先と考え、令和3年4月15日付で静岡地方裁判所沼津支部へ提訴した。

令和3年7月7日の第1回期日を皮切りに、令和5年2月22日の第12回期日の結審まで、一年半以上にわたり組合員を海上職へ職場復帰させる



堂ヶ島マリン乗船場所

ことを第一義に、組合員へ対する脱退勧奨・退職勧奨など、会社の数々の不当労働行為を訴え続けた。

会社主張を退け、不法行為を認定

その結果、令和5年5月31日、静岡地方裁判所沼津支部において判決が言い渡され、裁判所は、会社から組合員を排除することを目的に陸上勤務へ配転させたとして、会社の職種変更命令は配転命令権を濫用したものであり違法で

判決内容

組合員が、陸上勤務に専従する労働契約上の義務はないことを確認する。
会社は、組合員に対し、

あり無効であること、それにより船長として組合員に支払われるべき手当の請求には理由があること、会社が組合員を再雇用された船員らの中でただ一人望まない業務に就かせたことで、相当な精神的苦痛を被ったことなど、会社の不法行為を認定した。

未払い賃金(乗務手当)

を令和2年8月分から退職の日まで毎月支払え。

会社は、組合員に対し、

損害賠償金を支払え。

また、再雇用者に対する脱退勧奨は支配介入に該当すると判断した。

今後、組合は可及的速やかに団体交渉を開催し、同裁判所の判決を踏まえ組合員の海上復帰に向け、引き続き主力で取り組んでいく。

第八十五興福丸



第六十五盛漁丸



中型いか釣り漁船

第六十五盛漁丸(小原漁業部)

第七十八寿々丸(寿々丸漁業)

第八十五興福丸(八田漁業)

北太平洋アカイカ漁へ出漁

全国発信記事

道南支部
＝発信

第七十八寿々丸



5月13日に函館港から、中型いか釣り漁船の有限会社小原漁業部所属「第六十五盛漁丸」(138総トン)、有限会社寿々丸漁業所属「第七十八寿々丸」(199総トン)、八田漁業株式会社所属「第八十五興福丸」(184総トン)が、家族や関係者に見送られながら、北太平洋アカイカ漁に出漁した。

中型いか釣り業界を取り巻く環境は、外国漁船の違法操業、スルメイカの不漁、燃料価格の高騰、若手後継者の不足などにより、年々厳しさを増している。

その中でも「第七十八寿々丸」の菊地耕二漁撈長は「今年も無事出漁を迎えることができた。大漁を目指しながら、安全第一で頑張りたい」と力強く語った。

関係者らが見送る中、船はそれぞれ大漁旗を掲げ、汽笛を鳴らしながら、北太平洋の漁場を目指して出漁した。

アカイカームラサキイカ
流通上の呼称変更

例年5月中旬から9月ごろまで、北太平洋でとれるアカイカ。日本の漁船がとったものに関しては、外国産との差別化や認知度の向上につなげるため、昨年からの流通上の呼称を「ムラサキイカ」に変更している。日本近海でとれるスルメイカに比べ、身がひと回り大きく、加熱しても柔らかいため、主に燻製やさきいか、いか天ぷらなどに加工されてきた。近年は生食の引き合いも強く、大手回転すしチェーン店に商材とされるほど。活用の幅が広がるにつれ、需要も高まってきている。

イカの種類
イカは世界に450種類。日本でよく食べられているのは▽コウイカⅡ固い石灰質の甲にはカルシウムが豊富に含まれ、インコなどの副食として使われている。肉は厚くて美味。すしの高級ネタ「新イカ」とは、コウイカの稚イカのこと▽アオリイカⅡ歯ごたえ・甘み・うま味など、イカの刺身において最も美味とされている▽スルメイカⅡ日本周辺に広く生息しており、最もなじみ深いイカといえる▽ヤリイカⅡ細長い姿をしており、身はやや薄く、独特の上品な甘みがある▽アカイカⅡ全長80cm、体重4kgを超える大型のイカで、肉厚のためモチモチとした柔らかな食感が人気ーなど。

遠洋マグロはえ縄漁船

第21太陽丸(吉田喜好商店)
気仙沼港から出港

全国発信記事

小名浜
支部
＝発信

5月21日に気仙沼港から、株式会社吉田喜好商店に所属する遠洋マグロはえ縄漁船「第21太陽丸」(409総トン、日本人6名・インドネシア人17名乗り組み)が、大漁旗を掲げながら出港した。乗組員の家族・関係者ら、約100人が見送りに駆け付けている中、小野寺正利漁撈長は「見送りに感謝する。乗組員全員で力を合わせ、頑張ってくる」とあいさつ。

家族らに五色のテープと共に「元気で帰ってきてね!」との声援で見送られると、乗組員は両手を振って応え、出港していった。

新卒で遠洋漁船

気仙沼市で、遠洋漁船に乗船する新卒が急増している。2022年度、新卒で遠洋・近海マグロ船や遠洋力ツオ船

に乗るのは、高卒14人と大卒4人。彼らは▽テレビでマグロ船の仕事を見て、世界中で巨大な魚を釣り上げる格好良さに引かれた▽頑張った分だけ報酬があるなら、飛び込む価値はある▽先輩からの口コミで憧れたーなどの理由で志望したという。

漁業後継者確保・育成
新卒の遠洋漁船への定着率アップのためにも、本組合は、各校で行われる就職関連行事に積極的に参加し、漁業の魅力をアピールしている。主な実績は次の通り。

▽進路ガイダンスⅡ宮城県水産高校、山形県立加茂水産高校▽漁業ガイダンスⅡ福島県立小名浜海星高校、神奈川県立海洋科学高校、静岡県立焼津水産高校、愛知県立三谷水産高校ーなど。

遠洋マグロはえ縄漁
日本伝統の
資源にやさしい漁法

江戸時代の日本で開発された釣り漁法であり、一網打尽の網漁法と違い、環境にやさしい。

350〜500トンの大型船に、20〜25人が乗り組み、長さ200キロの幹繩に枝繩3000本を付けて釣る。えさはイワシ、サバ、イカなど。6〜7時間をかけて投縄を終えると、2〜3時間後には揚縄を始める。これは、マグロの引き上げや縄の回収、からまった縄の修復も行うため、12時間近くを要する作業。長時間にわたる作業を、乗組員たちは交替で行っている。

マグロはエラ、内臓、ヒレを素早く処理し、血抜きした上で、マイナス60度の凍結庫で急速凍結。その後、マイナス55度の魚艙に移して冷凍保存する。

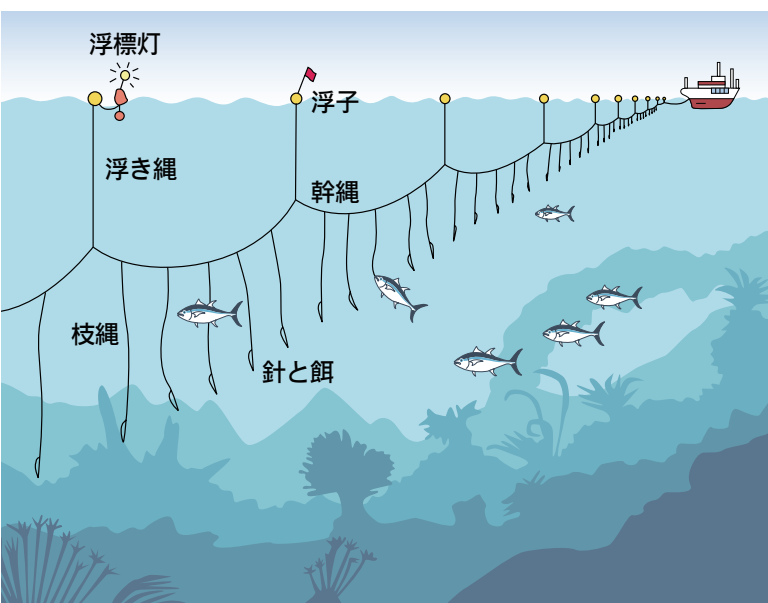
マグロはエラ、内臓、ヒレを素早く処理し、血抜きした上で、マイナス60度の凍結庫で急速凍結。その後、マイナス55度の魚艙に移して冷凍保存する。

漁場

太平洋、インド洋、大西洋などで、よく利用する港は▽ラスパルマス(スペイン領カナリア諸島)▽ケープタウン(南アフリカ)▽ベノア(インドネシア)▽カヤオ(ペルシ)。

魚種

主に▽クロマグロ(本マグロⅡ体長3m、重さ400kgにもなる、大型のマグロ。貴重であり、味も値段も最高級▽ミナミマグロⅡ南半球低水温域で漁獲され、脂乗りが良く高級▽メバチマグロⅡ目玉が大きいのが特徴。漁獲量が多く赤身がきれい▽キハダマグロⅡ体色が黄色いのが特徴。肉は鮮やかな桃色で味はあっさりーなど。



全国発信記事

尾道支部
＝発信

第56回尾道シーメンズ ゴルフコンペを開催



【宮川脩生通信員】5月26日、尾道ゴルフ倶楽部において、第56回尾道シーメンズゴルフコンペを、令和元年以来実に4年ぶりに開催し、組合員など総勢28人が参加した。

指し勘志を見せるプレーヤーや、のびのびと楽しむプレーヤー、ボールの行方に右往左往するプレーヤーなど、各人各様に久々の開催を楽しんだ。

者の発表と、協賛会社・団体からの豪華賞品をかけた抽選会が行われ、賞品の贈呈のたきに拍手、歓声が上がった。第56回尾道シーメンズゴルフコンペは成功裏に幕を閉じた。

また昼食休憩では、現時点でのスコアを比べ合い、後半戦に向けたモチベーションを高めたり、自身やパーティ内のプレーを振り返るなど、終始和やかな雰囲気の中で競技は進んでいった。

終了後の表彰式では、入賞

4年ぶりの開催、のびのびと楽しむ



船員の囲碁、覚えて強くなろう 海事センタービル近くの 囲碁サロン



左から(株)方円企画の白江徹一代表取締役と山岡さゆりインストラクター

長期航海の船では、休憩時間に囲碁や将棋を楽しんでいた人も多いのでは。最近ではコロナ禍で、陸上の集会所も閑散としていたようですが、将棋では藤井聡太さんが最年少で名人になるなど、盛り上がりを感じるこのごろです。

さて、囲碁について好きな人はスマホやテレビゲームでも楽しめる時代ですが、海員組合では文化活動の一環として年に2回、囲碁将棋大会を開催しており、コロナ禍で中止も続いていましたが、海事センタービルの近くにある「ダイヤモンド囲碁サロン」の白江徹一代表取締役社長に、囲碁のお話を聞いてみました。

囲碁の歴史と楽しみ
四角い基盤を用意して、黒と白の石を並べる囲碁は、一対二で行うゲームで、交互に基盤の上に黒と白それぞれの石を並べてゆき、自分の石で囲んだ領域の広さを勝ち負けを決めるゲームとなります。

囲碁が誕生したのは、今から四千年以上も前といわれます。

また、囲碁は国際的に楽しむことができます。囲碁はルールさえ覚えれば大人だけでなく子どもでも楽しむことができるものです。最近では初心者や子どもが気軽にスマホで囲碁のルールを覚えられるよう、昨年12月から「囲碁であそぼ」という無料の囲碁入門アプリが日本棋院から提供されています。

2023年6月5日
中央選挙委員会 議長 齋藤 洋

第39期全国委員の資格喪失告示
一、次の者は、規約第47条A項6号により全国委員資格を喪失したので告示する。
《地方区・地方単位》
03 関東 青山 達人

第39期全国委員・補充選挙の告示
規約第45条および全国委員選挙規則第25条に基づき、第39期全国委員補充選挙の実施について次のとおり告示する。

一、補充選挙を行う選挙単位と補充定員
《選挙単位コード・単位名》
地方単位 03 関東 1名

二、補充選挙の実施日程
立候補届出期間 2023年6月5日より
2023年6月14日まで
候補者告示 2023年6月15日
投票期間 2023年6月15日より
2023年7月14日まで

当選人告示 2023年7月15日(予定)

三、補充選挙の被選挙人
(1) 地方区
全国委員選挙規則第25条A項により、補充選挙告示日に当該地方単位の支部機関に配属されており、選挙資格を有する執行部員とする。

四、立候補の届け出
立候補をする者は、全国委員選挙規則付表の一に定める様式に基づき立候補届を担当地区選挙委員会へ提出すること。

五、補充選挙の実施に関する問い合わせ先
中央選挙委員会事務局(総務部)

以上



第50回 神戸まつり 海事関係団体とともに海運の 重要性をアピール

全国発信記事

関西支部
＝発信

長期間にわたる新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、中止が続いていた「神戸まつり」だが、今年は4年ぶりに実施することが決まり、5月28日、神戸港に続くフラワロードを練り歩く「おまつりパレード」に、関西地方支部のメンバーも参加した。神戸まつりの歴史は古く、その前身は「みなとの祭」で、戦前の1933年までさかのぼる。その後、1967年の「神戸港開港100周年記念祭」や、その前夜祭として開催された「神戸カーニバル」など、幾度の変遷を遂げ、現在の「神戸まつり」は1971年に市民参加型の祭りとして誕生した。

本組合も「うみ・みなとの仲間たち」として、神戸海洋少年団などとともに参加し、

まつりのメインイベントである「おまつりパレード」では、66団体約5000人がフラワロード・三宮中央通りを練り歩いた。

当日は約104万人の見物客を記録し、多くの観客で沿道を埋め尽くした。

本組合は「海にひらこうわれらの未来」の横断幕を先頭

に行進するとともに、制服を着用して広く観客に船員への認知拡大を図った。

また、ナレーションでは「日本に輸入される貨物の99%以上が船で運ばれていることをご存じですか。日本は周囲を海に囲まれており、私たちの生活文化や産業の多くが海や港と深く関わって発展して

きました。特に神戸は、海と港が普段の生活のすぐそばにあり、他の都市には見られない独特の文化と魅力があります。皆さんも、ぜひ、みなとに足を運び、素敵な『みなと街こうべ』を体感してください」と広報し、海運の重要性および神戸市の魅力について宣伝を行った。

また、ナレーションでは「日本に輸入される貨物の99%以上が船で運ばれていることをご存じですか。日本は周囲を海に囲まれており、私たちの生活文化や産業の多くが海や港と深く関わって発展して